

高瀬川 広域河川改修事業



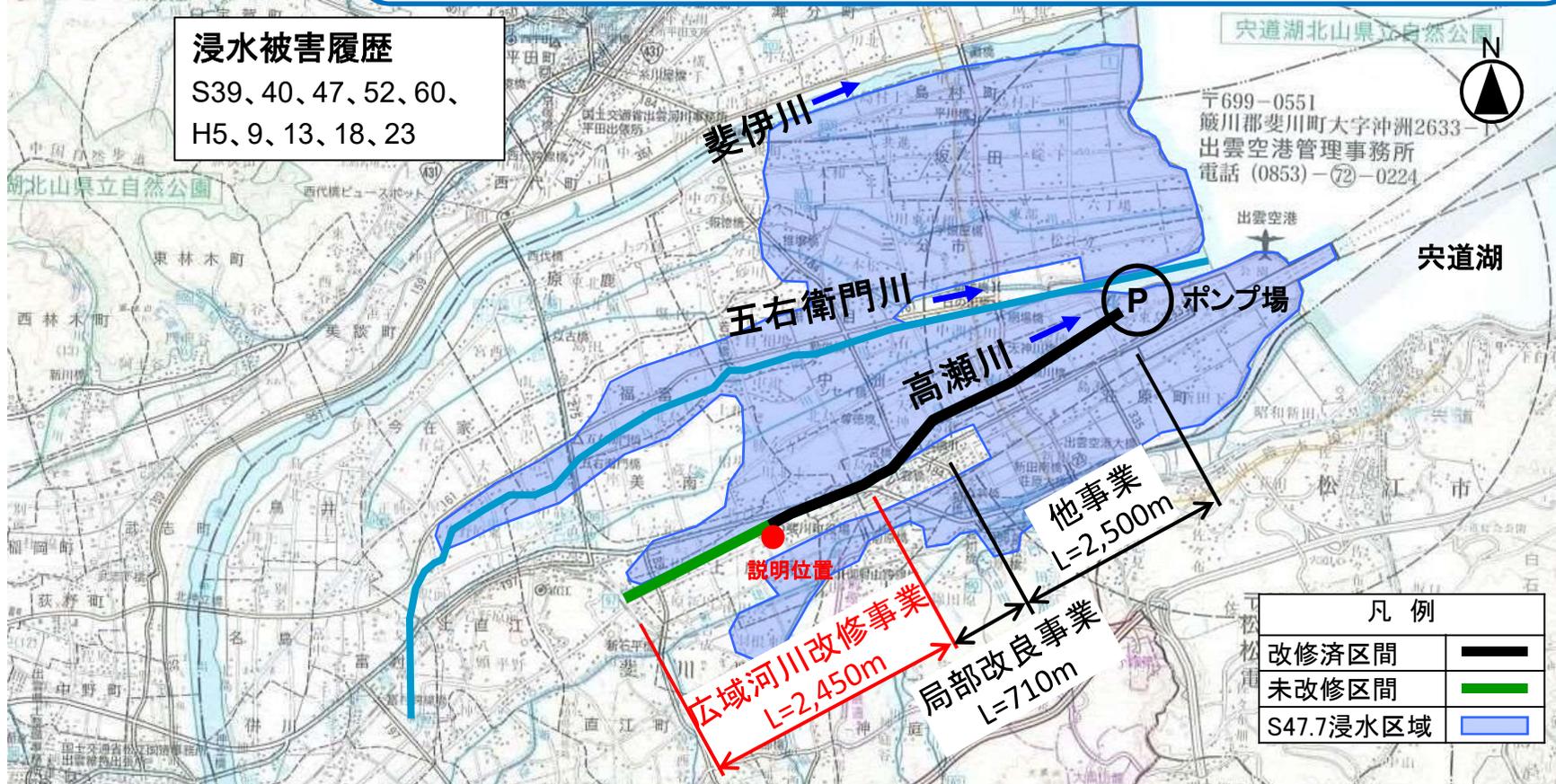
河川概要

五右衛門川の支川である高瀬川流域は河積が狭いうえ、地盤高が低く、河川勾配も緩やかで、洪水時には自然排水が困難となることから、五右衛門川との合流点には排水ポンプが設置されている。

昭和47年7月には甚大な浸水被害が発生しており、洪水被害の防止を目的とした河川改修が必要とされている。

浸水被害履歴

S39、40、47、52、60、
H5、9、13、18、23



高瀬川 出水状況写真



② 斐川支所前より600m上流 (H23.5)

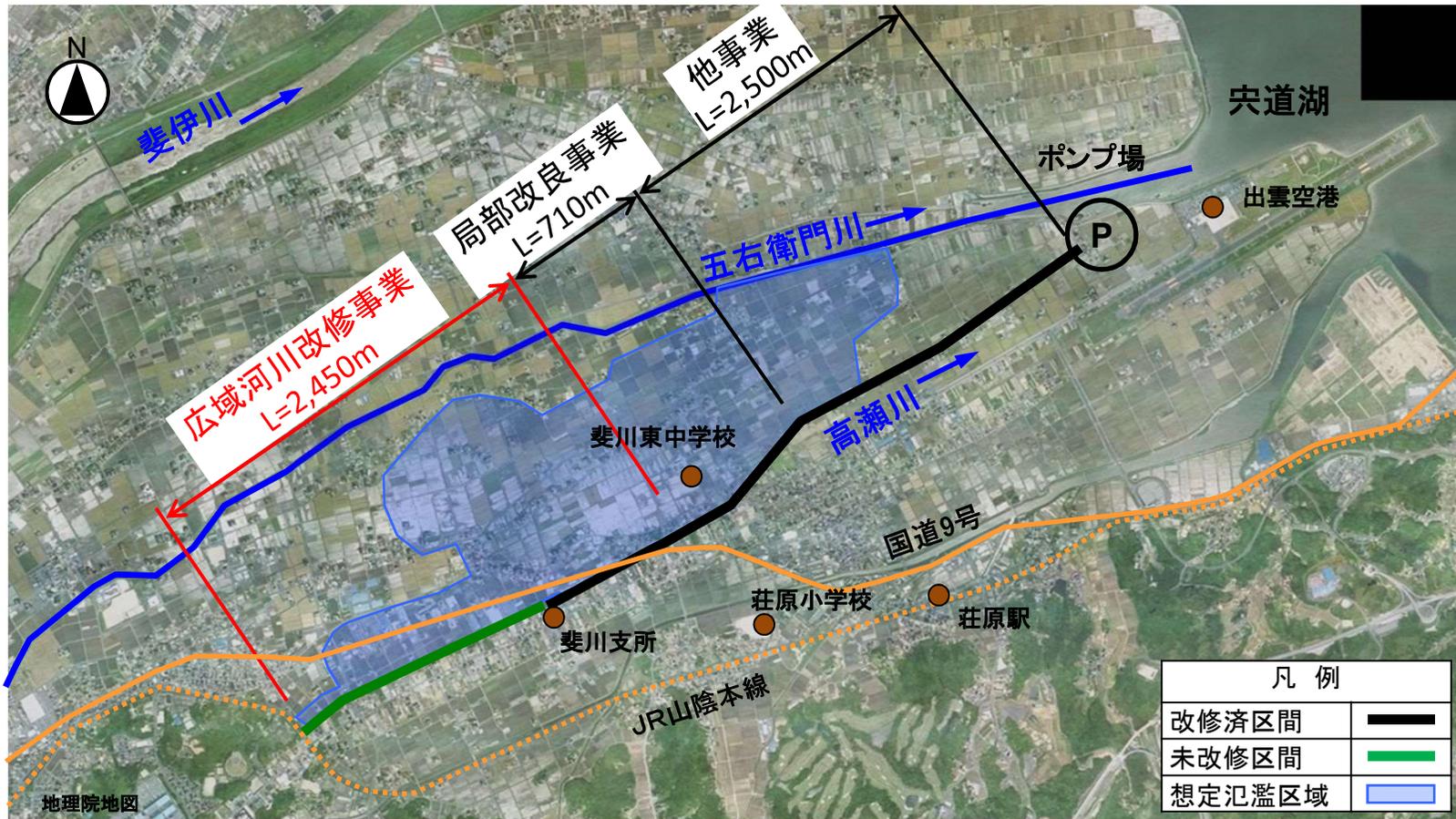


① 斐川支所周辺 (H5.6出水)



③ 斐川支所前より1200m上流 (H23.5)

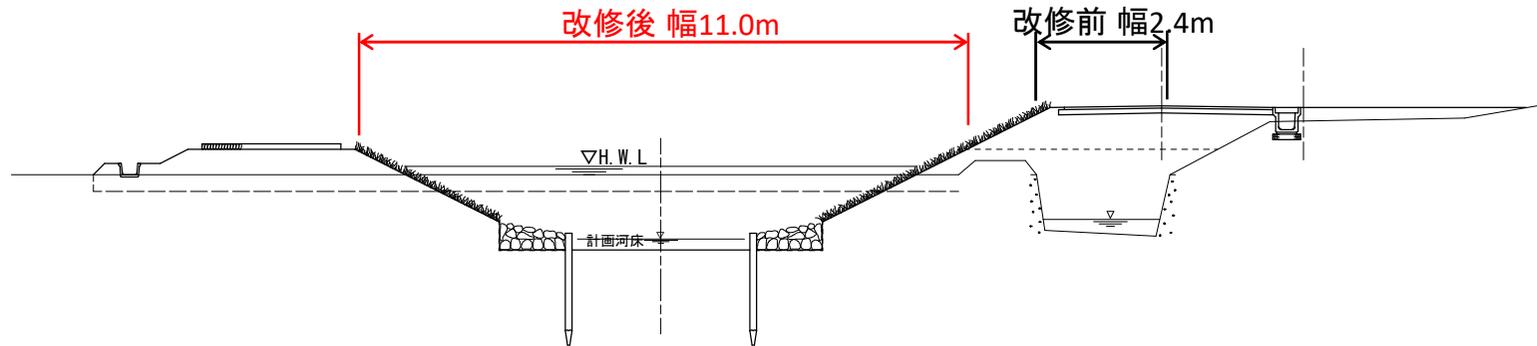
高瀬川 想定氾濫区域図(1/10確率)



事業概要

1. 概ね10年に1回の確率で発生する降雨による洪水に対して、沿川の家屋の浸水被害を防止する計画である。
2. 河川の拡幅と河床を掘削することにより、流下能力を確保する。

高瀬川 標準断面図



河川の拡幅と河床を掘削することにより流下能力を確保し、沿川の家屋の浸水被害を防止する。



改修前(斐川支所付近から上流)



改修後(斐川支所付近から上流)